令和７年度

要　覧

教師の学びを子どもの未来へ

新潟県立教育センター

Ⅰ　設置の目的・運営の基本方針

1　目的

新潟県立教育センターは、条例に基づいて設置され、本県教育の向上発展に寄与するため、研修、研究、支援に関する事業を行う。

〇新潟県立教育センター設置条例　　（昭和 41 年 7 月 15 日　新潟県条例第 33 号）

（設置）

第 1 条　地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 30 条の規定に基づき、教育に関する専門的、技術的事項の研究、教育関係職員の研修及び教育相談を行なうため、新潟県立教育センター（以下「教育センター」という。）を新潟市に設置する。

2　基本方針

教育センター設置条例に規定されている「教育に関する専門的、技術的事項の研究、教育関係職員の研修及び教育相談」を行い、本県学校教育の向上・発展に資する。

(1) 教職員研修

教職経験に応じた基本研修、専門研修及び実践力向上研修により、本県の教育課題への対応力及び主体的・対話的で深い学びを実現する資質・能力を身に付けた教員の育成を図る。

(2) 調査・研究

今日的な教育課題に関わる情報の収集及び学校等との連携による調査・研究を行い、その成果を活用することによって教職員研修の充実、改善を図るとともに、学校教育活動の充実に貢献する。

(3) 相談・支援

教職員、児童生徒及び保護者からのいじめ・不登校、特別支援教育、健康教育等に関して、教育相談を行うとともに、要請に応じて学校における研修等を支援する。

(4) 情報発信等

研修等の機会やインターネット等を活用して教育に関する情報提供を行うとともに、所蔵資料及び Web サイトの充実を図り活用を推進する。

Ⅱ　沿革

新潟県 教育研究所		昭和 25 年	4 月	新潟県教育研究所創立
			5 月	旧海洋道場を庁舎として使用
新潟県立 教育研究所		昭和 31 年	12 月	新潟県立教育研究所と改称
		昭和 35 年	11 月	創立 10 周年記念式典挙行
		昭和 36 年	2 月	教育相談開始
	新潟県立 理科教育センター	昭和 37 年	4 月	新潟県立理科教育センター創立
			7 月	庁舎竣工（教育研究所と理科教育センターの併置）
			11 月	庁舎新築落成式典挙行
		昭和 39 年	4 月	地区理科教育センター設置
			7 月	読売教育賞「教育研究所」部門で受賞
		昭和 40 年	6 月	創立 15 周年記念式典挙行
			11 月	第 1 回児童生徒科学研究発表会開催
新潟県立教育センター		昭和 41 年	8 月	新潟県立教育センターと改称
		昭和 45 年	10 月	創立 20 周年記念式典挙行
		昭和 50 年	11 月	創立 25 周年を記念して研究論文総目録を刊行
		昭和 54 年	7 月	地区理科教育センター応募論文が読売教育賞受賞
		昭和 55 年	11 月	創立 30 周年記念式典挙行
		昭和 58 年	11 月	新潟市曽和に庁舎新築、移転
		昭和 59 年	4 月	庁舎新築落成記念式典挙行
		平成　2 年	12 月	創立 40 周年記念式典挙行
		平成　3 年	4 月	教育相談センター開設
		平成　7 年	4 月	教員研修体系一元化実施
			6 月	全国教育研究所連盟総会・研究発表大会（新潟大会）開催
		平成　9 年	12 月	情報棟竣工
		平成 12 年	7 月	創立 50 周年記念式典挙行
		平成 14 年	4 月	ＮＥＩＮ（新潟県教育情報ﾈｯﾄﾜｰｸ）システムの運用開始
		平成 15 年	4 月	教育センター組織の統合・改組
		平成 17 年	11 月	関東地区教育研究所連盟教育相談・特別支援教育部会研究協議会開催
		平成 20 年	3 月	第 1 回教育フォーラム開催
			10 月	都道府県指定都市教育ｾﾝﾀｰ所長協議会生物部会(第 46 回)新潟大会開催
		平成 21 年	3 月	カリキュラムプラザ開設
		平成 22 年	11 月	創立 60 周年記念式典挙行
		平成 23 年	4 月	キャリア教育推進ステーション開設
			5 月	関東地区教育研究所連盟第 1 回委員会・総会・研究協議会開催
		平成 24 年	4 月	基本研修体系の改定
		平成 28 年	10 月	都道府県指定都市教育ｾﾝﾀｰ所長協議会初等理科分科会(第 47 回)新潟大会開催
		平成 30 年	4 月	新潟県教員等育成指標に基づく研修の体系化
		令和　3 年	3 月	創立 70 周年記念誌発行

Ⅲ　組織と主な業務

Ⅳ　所員一覧

所　長　　所長　外山　徹宏

次　長　　次長　清水　康一

総　務　課

（025）263-1094

○予算の編成、執行及び決算
○備品及び消耗品の購入、管理
○研修・講座に関する講師の旅費等の執行、管理
○施設管理

所属	職名等	氏名	担当業務
総務課	総務課長	梁川　克史	課総括
	主　任	比後理恵子	庶務
	職　員	若杉沙弥香	事務補助

教育支援課

教育企画班　（025）263-9014

○教育センター業務の運営管理
○運営計画の立案と業務の運営総括
○割当専門研修の取りまとめ・割当依頼
○所管専門研修の運営管理
○情報環境に関わる事業・業務の推進

教員研修班　（025）263-9018

○研修事業の統轄
○基本研修の運営管理
○指導力ステップアップ研修の運営管理
○所管専門研修の運営管理
○研修事業に関する調査・研究の推進

教育研究班　（025）263-9028

○調査・研究・プロジェクトの統轄
○実践力向上研修の統轄
○教育フォーラムの推進
○理科・科学技術教育推進事業の統轄
○キャリア教育に関する業務の推進
○英語・国際理解教育推進事業の統轄
○所管専門研修の運営管理

学力向上推進チーム　（025）263-9024

○Web配信集計システムによる学力診断及び授業改善への支援・研究
○教育支援システムの運用
○広報活動

教員支援班　（025）263-9013

○支援ニーズの把握と支援依頼への対応
○支援事業の統轄
○所管専門研修の運営管理
○特別支援教育、教育相談・児童生徒理解、健康教育等に関する調査・研究の推進

所属	職名等	氏名	担当業務	
教育支援課	教育支援課長	清水　康一	課総括	
教育企画班	副参事（指導主事）	佐藤　　俊	班総括	（高・地歴公民）
	副参事（指導主事）	齋藤　忠之	義務・管理職研修	（中・数学）
	指導主事	袖山　　司	義務・管理職研修	（中・外国語）
	指導主事	宮澤　　寛	情報教育	（高・地歴公民）
	指導主事	今井　大輔	高校・管理職研修	（高・国語）
	指導主事	服部　洋平	情報教育	（高・商業）
	指導主事	村山　勝彦	高校・管理職研修	（高・数学）
	指導主事	齋藤　倫明	高校・管理職研修	（高・理科）
	指導主事	山上　達郎	情報教育	（高・数学）
教員研修班	副参事（指導主事）	加藤　英司	班総括・義務６年次研修	（中・国語）
	副参事（指導主事）	五十嵐章久	義務・中堅研修	（小・算数）
	指導主事	吉田　紀夫	高校・中堅研修	（高・外国語）
	指導主事	小黒　成寛	義務・初任者研修	（中・国語）
	指導主事	古谷　和也	養護教諭研修	（小・社会）
	指導主事	松井　直子	高校・初任者研修	（高・家庭）
	指導主事	石川　雄一	幼稚園教諭研修	（中・音楽）
	指導主事	尾崎　　巧	高校・６年次研修	（高・理科）
教育研究班	副参事（指導主事）	髙見　由光	班総括	（高・地歴公民）
	指導主事	大野　敏法	プログラミング教育・教科リーダー	（中・技術）
	指導主事	竹石　智史	理科教育	（高・理科）
	指導主事	長谷　一弘	理科教育	（中・理科）
	指導主事	大瀧　庸平	キャリア教育	（高・地歴公民）
	指導主事	國弘　洋右	英語教育	（高・外国語）
	指導主事	原　　宏志	キャリア教育	（高・国語）
	外国語指導助手	ラスティ・ドットソン	県ALTアドバイザー	（高・外国語）
	指導員	渡辺　　剛	高校・管理職研修	（高・理科）
	指導員	長井　英幸	高校・管理職研修	（高・工業）
学力向上推進チーム	指導主事	佐藤　直子	学力向上	（小・国語）
	指導主事	尾身　直樹	学力向上	（高・数学）
	長期研修員	髙橋　祐輔	学力向上	（小・国語）
	長期研修員	本間　哲郎	学力向上	（中・外国語）
	長期研修員	市橋　佑太	学力向上	（中・数学）
	長期研修員	飯田　弘基	学力向上	（中・国語）
	長期研修員	山崎　潤司	学力向上	（小・算数）
教員支援班	副参事（指導主事）	松沢　正樹	班総括	
	指導主事	金田　智和	特別支援教育	
	指導主事	近藤　修平	特別支援教育	
	指導主事	柳澤　路子	特別支援教育	
	副参事（指導主事）	小室　謙司	教育相談	
	指導主事	五十嵐一峰	教育相談	
	指導主事	木村健太郎	教育相談	
	相談員	阿部奈津美	教育相談	
	指導主事（事）	大崎加代子	健康教育	

Ⅴ　事業概要

1　研修事業

(1) 新潟県教員等育成指標　教諭指標(共通指標)

区分	観点		着任時（採用段階）	第1期 基礎形成期	第2期 能力伸長期	第3期 能力充実期	特にミドルリーダーに求めるもの※
				職務の遂行に必要な実践的指導力の基礎の確立	専門的知識・技能に基づく実践的指導力の向上	学校(園)運営の参画に向けた実践的指導力の充実	
				1～5年目	6～12年目	13年目以降	
教員としての素養	教育公務員としての崇高な使命を自覚し、教職への誇りと情熱、児童生徒への愛情をもつ。						
	高い倫理観、人権感覚をもち、法令や服務規律の遵守を徹底し、責任をもって自らの職務を果たす。						
	学び続けることの重要性について理解し、理想の教師像や目指す授業、新たな教育課題の解決に向けて常に努力し続ける。						
	学校運営の持続的な改善を支えられるよう、校務に積極的に参画し、組織の中で自らの役割を果たす。						
	教職員や児童生徒、保護者、地域住民等とのコミュニケーションを大切にしながら、周囲との信頼関係を構築する。						
	学校運営	学級経営・学年経営	学級担任の役割と職務内容及び、学校運営と組織編成の方針、校務分掌の内容を理解している。	教育目標を理解し、児童生徒の実態を踏まえ、学級内での良好な人間関係づくりに努め、組織的に活動できるよう指導する。	教育目標や学校の経営方針を踏まえ、同僚の教職員と連携を図りながら、積極的に学級・学年経営に参画する。	教育目標や学校の経営方針を踏まえ、同僚の教職員に適切な支援、助言を行いながら主体的に学級・学年経営を推進する。	学校運営について、創造的なビジョンの構想やプラン構築に参画し、教育活動を活性化する。
		教職員間の連携・協働	社会人として良識ある言動に努め、円滑な人間関係を築こうとしている。	他の教職員と積極的に関わり、疑問点や悩みを相談したり、共有したりしながら自己改善を進める。	互いの課題や悩みに気付き、支え合える環境をつくるとともに、経験の少ない教職員を積極的に支援する。	学校全体の教職員の特性を踏まえ、役割分担を調整するとともに、経験に応じた効果的な人材育成の環境を整える。	
		家庭や地域社会等との連携	家庭や地域社会等との連携の必要性と在り方を理解している。	家庭や地域社会等と積極的にコミュニケーションをとり、良好な関係を築く。	家庭や地域社会、関係機関等との関わりを深め、連携・協働して教育活動を行う。	家庭や地域社会、関係機関等からの要望等の情報収集に努め、連携・協働のネットワークを形成する。	
		学校安全、危機管理	危機管理の重要性とともに、未然防止や危険を察知した場合に、迅速かつ組織的に行動すること等の必要性を理解している。	いじめ対応、心のケア、アレルギー対応及びその他学校事故の未然防止と安全配慮義務について理解し、迅速かつ組織的に対応する。	緊急事態発生の対応について日頃から組織的な動きをイメージし、未然防止に努め、事故が起こったとき迅速かつ組織的に対応する。	緊急事態発生の対応について日頃から中核的な役割を担い、未然防止に努め、事故へ迅速かつ組織的に対応する。	
学習指導	授業構想		学習指導要領の目標と内容に沿って、児童生徒の実態に合った授業を行うことの重要性を理解している。	児童生徒の実態を把握した上で、単元を通して育む資質・能力とねらいを明確にした授業を立案する。	身近な生活や社会につながる授業や、児童生徒の主体的な学びを導く授業・単元の構想を立てる。	高い専門性を基に、周りにある教育資源や新しい指導方法を効果的に取り入れ、他の教員の模範となる授業を構想する。	学校全体の学習上の諸問題を把握し、教育課程や授業づくりについて、小・中・高連携の視点をもち、組織的に校内研究を進める。
	授業実践		板書や発問等の基本的技術を身に付けるとともに、児童生徒の考えを引き出す課題を設定しようとしている。	主体的・対話的で深い学びの実現を図り、児童生徒が自ら課題を見つけ、解決していく授業を行う。	主体的・対話的で深い学びの視点から、各教科の専門的知識・技能を高め、児童生徒の学びを深める授業を行う。	主体的・対話的で深い学びを組織的に推進し、授業に関する適切な指導・助言を行う。	
	評価・改善		目標に準拠した評価規準の設定や、活動に合った評価方法を用いて評価している。	学習評価の在り方を理解し、評価規準を用いて児童生徒の学習状況を把握し、指導を改善する。	学力向上や教科等の目標の視点をもち、日々の授業を振り返るとともに、他の教職員の授業を参観し、不断の授業改善を行う。	学力向上や授業評価、授業改善等の視点をもち、学年内や教科内の指導計画の改善を学校全体で行う。	
生徒指導	児童生徒理解、多様性理解		児童生徒一人一人の実態に沿った指導の重要性を理解している。 インクルーシブ教育システム等、多様性を尊重し、共生を図るための基本的な指導の在り方を理解している。	児童生徒と積極的にコミュニケーションを図るとともに、公平かつ受容的・共感的に関わる。 児童生徒の多様性を理解し、多様性を生かした教育活動を実践する。	児童生徒一人一人の心身の特性や状況、生活環境等を多面的に捉え、個に応じた指導・支援を行う。	教職員の多様な専門性を活用し、連携・協働して組織的に児童生徒の指導・支援を行う。	生徒指導を組織的・計画的に行うための長期的な見通しをもち、関係機関や小・中・高等との連携を図りながら、教職員に対して指導・助言をする。
		いじめ等の問題行動への対応	いじめや不登校等の背景にある問題の把握と問題解決に向けた迅速かつ組織的な指導・支援が重要であることを理解している。	日常的な観察や会話、アンケート調査、面談等をとおしていじめの早期発見と迅速かつ組織的な対応、不登校の未然防止に努める。	児童生徒が抱える課題や困難を分析し、いじめや不登校等の予防・解決に向けて迅速かつ組織的な対応による適切な指導・支援を行う。	いじめや不登校等の現状について常に情報を収集し、予防・解決に向けて迅速かつ組織的な対応による適切な指導や支援を行う。	
	進路指導及びキャリア教育		キャリア教育や進路指導の意義、児童生徒が自分らしい生き方を実現するための力を育成することの重要性を理解している。	児童生徒の夢や進路への思いを受け止め、率先してキャリア教育に取り組む。	キャリアカウンセリングを通して、児童生徒の進路や将来を見据えたキャリア教育を実践する。	小・中・高や外部機関との連携を図りながら、進路指導やキャリア教育の指導計画の整備に参画する。	
特別支援等	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応		特別支援教育の基本的な指導・支援の考え方及び合理的配慮等の在り方について理解している。	個々の特別な教育的ニーズに応じて指導方法を工夫し、個別の指導計画等に基づいた指導を行う。	個別の指導計画及び個別の教育支援計画に基づいた支援が継続するよう、その評価・改善を適切に行う。	個別の教育支援計画等に基づき、必要に応じて関係機関との連携や活用を進め、組織的・継続的な支援を行う。	特別支援教育を組織的・計画的に行うために関係機関との連携を図りながら、教職員に対して指導・助言をする。
ICT等	ICT や情報・教育データの利活用		ICT活用の意義を理解し、授業や校務等にICTを効果的に活用しようとしている。	「個別最適な学び」と、「協働的な学び」を一体的に充実させるとともに、情報活用能力(情報モラル等を含む)を育成するための授業実践等を行うことが出来る。また、校務等を円滑かつ効率的に処理する。			生徒及び教職員の情報活用能力の向上に向け自校の課題を把握し、課題解決のために組織的・計画的に校内研修を企画・立案し、必要に応じ指導・助言をする。

着任時：　着任時点で身に付けていてほしい資質・能力（大学等における教員養成の到達目標）
第1期～第3期：　各期において、最終的に到達してほしい資質・能力（到達目標）
※ミドルリーダーとは「役割」であり、年齢に縛られるものではない。

(2) 研修・講座一覧

※「令和７年度教職員研修計画」のうち、研修主体が県立教育センターのものを記載

体系	指標	分類	番号	講座名	研修属性	キャリアステージ 1	2	3	ミ	管
Ⅰ基本研修	第１期	初任者研修	1	幼稚園等新規採用教員研修	悉皆・希望	○				
			2	初任者研修（小学校）	悉皆	○				
			3	初任者研修（中学校）	悉皆	○				
			4	初任者研修（高等学校）	悉皆	○				
			5	初任者研修（特別支援学校）	悉皆	○				
			6	新採用養護教諭研修	悉皆	○				
			7	新採用等栄養教諭研修	悉皆	○				
		教職２年次研修	8	教職２年次研修（小・中・特）	指名	○				
			9	教職２年次研修（高等学校）	指名	○				
			10	教職２年次研修（養護教諭）	指名	○				
	第２期	教職６年次研修	11	教職６年次研修（幼稚園）	指名・希望		○			
			12	教職６年次研修（小・中・特）	悉皆		○			
			13	教職６年次研修（高等学校）	悉皆		○			
			14	教職６年次研修（養護教諭）	悉皆		○			
			15	教職６年次研修（栄養教諭）	悉皆		○			
	第３期	中堅教諭等資質向上研修	16	中堅教諭等資質向上研修（幼稚園）	悉皆・希望			○		
			17	中堅教諭等資質向上研修（小・中・特）	悉皆			○		
			18	中堅教諭等資質向上研修（高等学校）	悉皆			○		
			19	中堅教諭等資質向上研修（養護教諭）	悉皆			○		
			20	中堅教諭等資質向上研修（栄養教諭）	悉皆			○		
Ⅱ専門研修 １課題別研修	教員としての素養	学級経営・学年経営	21	みんながいきいき！学級づくり講座	希望	○	○	○	○	
	学習指導	各教科	25	子どもがワクワクする授業づくり講座	希望	○				
			26	教科リーダー育成講座（小・中・特）［１年次］	希望		○	○	○	
			27	教科リーダー育成講座（小・中・特）［２年次］	指名		○	○	○	
			32	探究的な学びに向かう！授業アイディア講座Ⅰ（高等学校）	希望	○	○	○	○	
			33	探究的な学びに向かう！授業アイディア講座Ⅱ（高等学校）	希望	○	○	○	○	
			34	自ら学びに向かう！単元デザイン講座Ⅰ（高等学校）	希望	○	○	○	○	
			35	自ら学びに向かう！単元デザイン講座Ⅱ（高等学校）	希望	○	○	○	○	
			36	教科別ＩＣＴ活用研修（高等学校）	希望	○	○	○	○	
		授業力向上	29	単元デザイン講座（理論編）	希望	○	○	○	○	○
			30	個別最適・協働的な学びに向けた授業づくり講座Ⅰ（理論編）	希望	○	○	○	○	○
			31	個別最適・協働的な学びに向けた授業づくり講座Ⅱ（実践編）	希望	○	○	○	○	○
			101	教科横断的探究プロジェクト研修	割当・希望		○	○	○	
		理数	41	小学校理科基礎講座	指名	○				
			42	理科授業力向上講座	希望		○	○	○	
			43	先端科学技術活用講座	希望	○	○	○	○	○
		保健体育	44	保健教育実践講座	指名・希望	○	○	○	○	
		外国語	48	小学校外国語実践講座	割当		○			
		技術・家庭	28	３年間を見通した技術分野パワーアップ講座	指名	○	○	○	○	○
		道徳	53	豊かな心をはぐくむ道徳教育講座	希望	○	○	○	○	○
	生徒指導	児童生徒理解 多様性理解	61	感情の理解と社会性を育む生徒指導講座	希望	○	○	○	○	
			62	チーム学校で進める協働的な教育相談講座	希望	○	○	○	○	
		いじめ等の問題行動への対応	72	生徒指導上の諸課題に関する対応力向上研修	割当・希望					○
			82	「いじめ」の理解と対応講座	希望	○	○	○	○	○
			83	ゲートキーパー研修	希望	○	○	○	○	○
		進路指導及びキャリア教育	85	アントレプレナーシップ（起業家精神）を育むキャリア教育推進講座	希望	○	○	○	○	○
	特別支援等	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	87	新任特別支援学級担任教員研修	指名	○	○	○	○	
			88	特別支援教育コーディネーター研修	指名		○	○	○	
			91	通級指導等担当研修	指名	○	○	○	○	
			93	みんなの特別支援教育講座	希望	○	○	○	○	○
			95	障害のある子どもの学びを広げるＩＣＴ活用講座	希望	○	○	○	○	○
			96	子供の教育的ニーズに応じた特別支援教育講座（高等学校）	希望	○	○	○	○	○
			97	子供の教育的ニーズに応じた特別支援教育講座（小･中学校）	希望	○	○	○	○	○
			98	子供の教育的ニーズに応じた特別支援教育講座（特別支援学校）	希望	○	○	○	○	○
	ＩＣＴ等	ＩＣＴや情報・教育データの利活用	99	プログラミング教育講座	希望	○	○	○	○	○
			100	Google Workspace for Education基礎講座	希望	○	○	○	○	○
			102	ロイロノート・スクール基礎講座	希望	○	○	○	○	○
			103	MetaMoji ClassRoom基礎講座	希望	○	○	○	○	○
			104	校内ＩＣＴ活用促進講座Ⅰ（理論編）	希望	○	○	○	○	○
			105	校内ＩＣＴ活用促進講座Ⅱ（実践編）	希望	○	○	○	○	○
			106	探究学習に活かすデータサイエンス講座Ⅰ	希望	○	○	○	○	○
			107	探究学習に活かすデータサイエンス講座Ⅱ	希望	○	○	○	○	○
			108	生成ＡＩ活用講座	希望	○	○	○	○	○
	大学連携講座		110	［新潟大学理学部連携］探究的な学びに向けた授業づくり講座（高等学校）数学	希望	○	○	○	○	○
Ⅱ専門研修 ２職務別研修	校長等	校長	112	小・中・特別支援学校新任校長、幼稚園新任園長研修	指名・希望					○
			113	高等学校新任校長研修	指名					○
		教頭	115	幼・小・中・特別支援学校新任教頭研修	指名・希望					○
			116	高等学校新任教頭研修	指名					○
		管理職	117	学校管理職マネジメント研修（幼・小・中・特別支援学校）	指名・希望					○
			118	学校管理職マネジメント研修（高等学校等）	指名					○
	養護教諭		121	養護教諭健康相談講座	希望	○	○	○	○	
			122	養護教諭のための学校保健マネジメント講座	指名・希望				○	
	主任、主幹等教諭		127	小・中・特別支援学校新任主幹教諭研修	指名				○	
	実習助手		137	実習助手教育一般研修	指名		○			
			138	実習助手専門研修	指名			○		
	寄宿舎指導員		142	寄宿舎指導員教育一般研修	指名		○			
			143	寄宿舎指導員専門研修	割当・指名		○	○	○	
Ⅲ	その他		158	実践力向上研修	希望					
			159	指導力ステップアップ研修	指名					
			160	第18回教育フォーラムアーカイブ配信	希望	○	○	○	○	○

キャリアステージの略称　１：第１期（１～５年）　２：第２期（６～12年）　３：第３期（13年～）　ミ：ミドルリーダー　管：管理職

2　調査・研究事業

プロジェクトチーム等による調査・研究

指導主事によるプロジェクトチームを編成し、研究協力校園と連携して調査・研究を行い、その成果を「教育フォーラム」において県内外に発信する。

■教育相談

SEL（社会性と情動の学習）を活用した授業実践について、調査・研究を行う。

■学級・ホームルーム経営

学級・ホームルーム経営において核となる「子どもの主体性の育成」に焦点化し、調査・研究を行う。

■特別支援教育

特別な支援を必要とする児童生徒への指導・支援の充実に向けて、調査・研究を行う。

■道徳教育の推進

「考え、議論する道徳」の実現に向けた授業改善とともに、教育活動全体を通じた道徳教育の充実に向けて、調査・研究を行う。

■主体的・対話的で深い学び

学習指導要領が目指す資質・能力の育成を図るために、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善について、調査・研究を行う。

■探究的な学び・デジタル教材活用

デジタル教科書などのデジタル教材を活用した探究的な学びの実現について、調査・研究を行う。

■キャリア教育（アントレプレナーシップ教育）

アントレプレナーシップ教育の視点を生かしたキャリア教育の見直しと、学校におけるキャリア教育の先進事例について、調査・研究を行う。

■情報活用能力育成の推進

学校 DX 化及び NEXTGIGA に向けた生徒の情報活用能力の育成について、調査・研究を行う。

関係機関等との連携

関係機関との連携を図りながら、様々な教育の推進に協力や支援を行う。

■理科・科学技術教育の推進

・上越教育大学コア・サイエンス・ティーチャー（CST）養成事業への協力
・新潟県地区理科教育センター連絡協議会連携事業等への協力
・スーパーサイエンスハイスクール(SSH)事業への協力
・簡易放射線測定器貸出業務
・いきいきわくわく科学賞の運営等

■英語・国際理解教育の推進

・文部科学省、義務教育課及び高等学校教育課の事業への協力
・小・中・高等学校の研修等への協力

■教育相談・生徒指導・特別支援教育の推進

・生徒指導課の事業等への協力・支援
・いじめ・不登校等の電話相談
・来所・電話相談件数の生徒指導課への報告
・特別支援教育推進室との連携

■健康教育

・研修・講座を通じた現代的健康課題の解決に向けた教育内容、環境整備についての研究

■学力向上推進システム活用事業

・「まなチャレ教材」を用いた授業づくりの支援

・学習支援動画整備

・市町村支援事業

・広報活動等

3　支援事業

研修支援

■実践力向上研修

・申込方法：県立教育センターWeb サイト内、「各種支援活動」の「実践力向上研修」参照

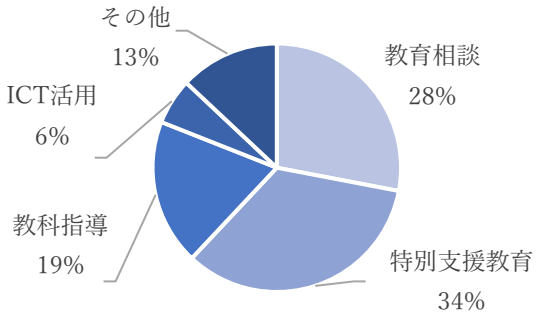
・対　　象：公立各学校園の教職員（新潟市立小・中・特別支援学校を除く）

・内　　容：教科等の指導、特別支援教育、教育相談に関する校内研修に対して、県立教育センター指導主事を派遣しての支援

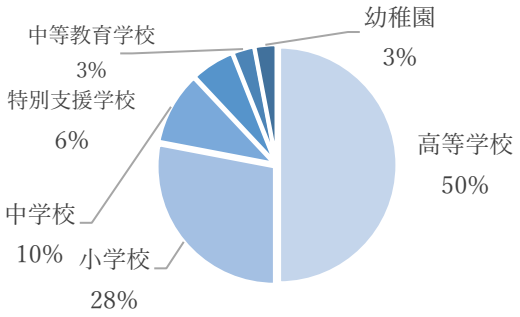
※指導主事派遣に係る旅費は、県立教育センターが負担する。

※Zoom 等のオンライン会議システムを活用した研修の依頼にも応じる。

●令和６年度　実践力向上研修の実施状況　　実施件数 32 件



支援内容



実施校種

■要請訪問

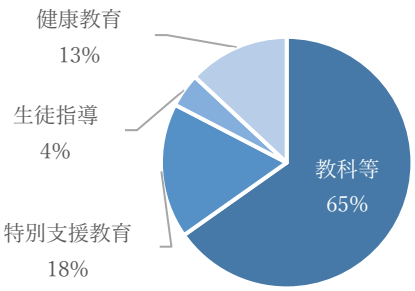
・支援対象：公立各学校園、市町村教育委員会、教育関係研究会等（新潟市立の学校園は除く）

・支援内容：各教科・領域等に関わる支援全般（オンライン会議システムを活用した研修可）

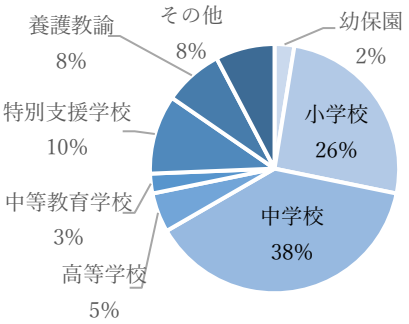
・申込方法：県立教育センター教育支援課長に電話で依頼し、所長宛に「派遣依頼文書」を提出

・経　　費：指導主事派遣に係る旅費は、要請団体が負担する。

●令和６年度　要請訪問の受付状況　　受付件数 23 件



支援内容



参加者の割合

相談支援

◇相談日時：月曜日から金曜日（祝日、年末年始、お盆の時期を除く）午前９時から午後５時

◇相談対象：幼児児童生徒及びその保護者、学校園の教職員等

◇来所相談と出前教育相談（学校園の教職員のみ）は、電話による申込が必要

■いじめ・不登校等教育相談

◇**『いじめ・ふとうこう等なやみごと相談テレフォン』**（電話相談）

・電話番号：**０２５－２６３－４７３７**（幼児児童生徒、保護者）

・相談内容：いじめ、不登校等に関する悩みごと

・相談日時：上記相談日の午前９時 10 分～午後４時

◇**『教育相談』**（電話相談・来所相談・出前教育相談）

・電話番号：**０２５－２６３－９０２９**（教職員）

・電話番号：**０２５－２６１－０４１０**（幼児児童生徒、保護者）

・相談内容：幼児児童生徒の教育上の様々な悩みごと

■特別支援教育相談

◇**『特別支援教育相談』**（電話相談・来所相談・出前教育相談）

・電話番号：**０２５－２６３－９０３０**（幼児児童生徒、保護者、教職員）

・相談内容：特別支援教育に関わる様々な悩みごと

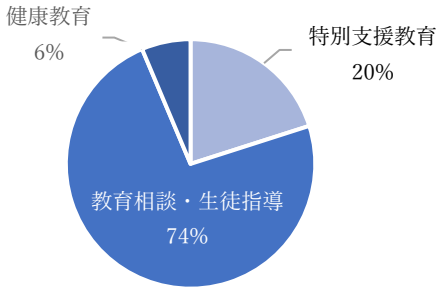
■心身の健康教育相談

◇**『ほけんしつハートダイヤル』**（電話相談）

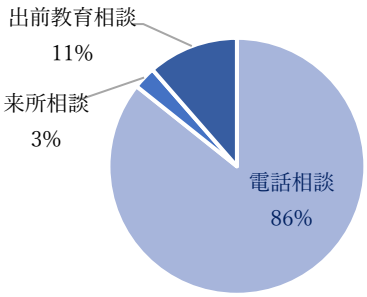
・電話番号：**０２５－２６３－９０３２**（幼児児童生徒、保護者、教職員）

・相談内容：心身の健康問題に関する悩み、保健室執務、健康教育に関する支援や情報提供

●令和６年度　相談支援の支援状況　　実施件数 334 件



支援内容



支援方法

教育情報提供支援

■新潟県立教育センターだより

新潟県立教育センターの事業や開催している研修・講座に関するお知らせ、様々な教育情報、イベント等を県内の教育機関等に随時配信する。

■新潟県立教育センターWeb サイト

研修・講座、調査・研究、支援の窓口及び各市町村教育委員会、学校園、教職員等への情報提供をする。

https://www.niigata-educ.nein.ed.jp

■note

研修の紹介や、実施した研修の様子及び災害等発生時の研修・講座に関するお知らせなどの情報を提供する。

（新潟県立教育センター　https://note.com/niigata_educ/）

■カリキュラムプラザ

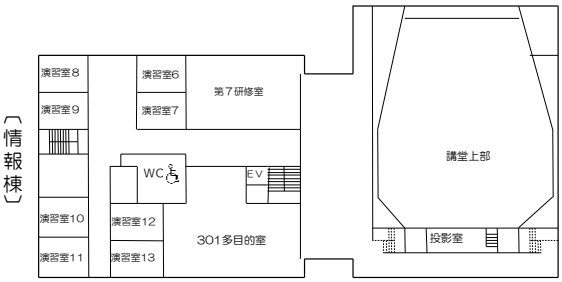
県内外の大学や教育関係機関等の教育資料（平成 28 年度以降のもの）、教科用図書、教育雑誌の閲覧と貸出し。

利用時間は午前 9 時～午後 4 時 30 分。

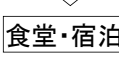
※教科用図書や教育雑誌については閲覧のみで貸出し不可。

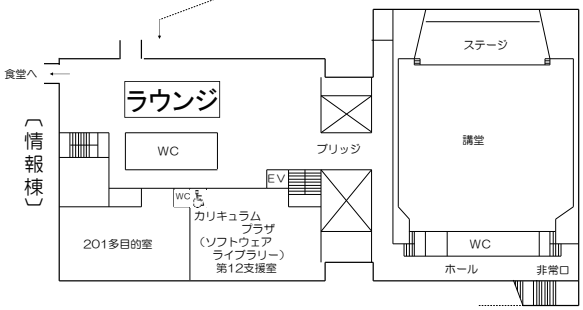
Ⅵ　施設平面図

３階



２階



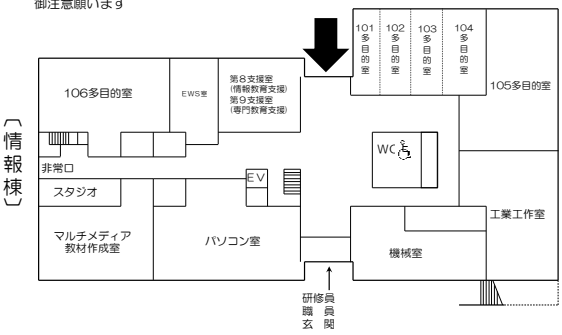


１階

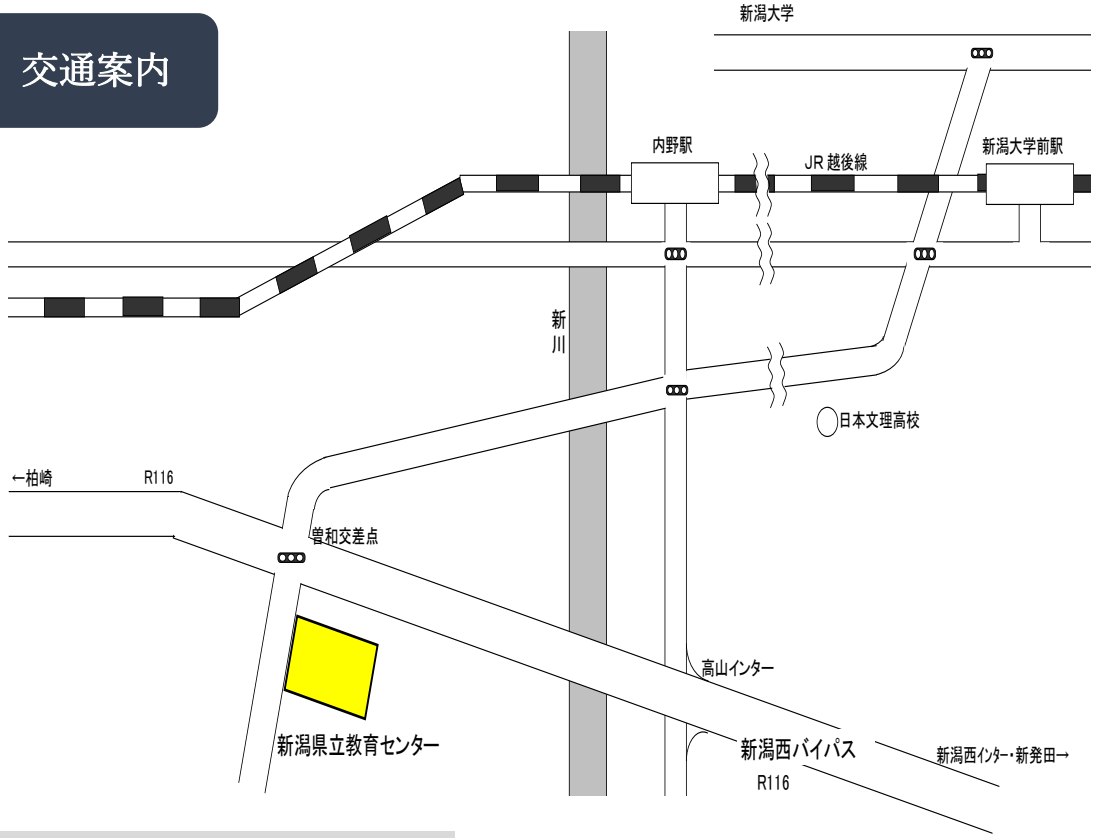
研修棟入口

教育相談専用玄関
受講者はここから入らないよう御注意願います

情報棟入口



交通案内



教育センターまでの所要時間

- ＪＲ内野駅から 徒歩　20 分
- ＪＲ内野駅から タクシー 5 分

表紙の言葉：学び続ける教師
作　　者：小熊直子（平成 27～29 年度当センターに指導主事として在籍）
制作の意図：自らの資質・能力を向上させ、教育課題に向き合い、それを乗り越えていく教員を支援したいという思いを込めて制作しました。

新潟県立教育センター

〒950-2144　新潟市西区曽和 100-1　TEL（025）263-1094（代表）
FAX（025）261-0006

■教育企画班　TEL（025）263-9014・9016
■教員研修班　TEL（025）263-9017・9018
■教育研究班　TEL（025）263-9028・9044
■教員支援班　TEL（025）263-9013
■学力向上推進チーム　TEL（025）263-9023・9024
URL　https://www.niigata-educ.nein.ed.jp
E-mail　ngt503010@pref.niigata.lg.jp